

はじめに (2)

CRF250L

Hondaは、2020年に向けて「良い商品を早く、安く、低炭素で実現する」ことを目指しています。そこで開発チームは新型CRF250Lを通じて、先に述べたオフロードの歴史的背景を振り返るとともに、オンロードからオフロードまで扱いやすい性能でありながらも、誰もがあこがれるオフロード車のトップエンドモデルを予感させるスタイリングを身にまとい、昨今のフルサイズ250ccのオン・オフモデルを求めるお客様からの要望をグローバル視点で徹底的に追求することにしました。

その結果、市街地とオフロード双方での扱いやすい性能を持ちながらも、Hondaオフロードモデルのデザイントレンドをさらに推し進めた最新のスタイルを身にまとったグローバルモデルを具現化し、そのモデル名に「CRF」の名を冠することになりました。これによりCRFシリーズは、頂点を目指すコンペティションマシン「CRF-R」「CRF-X」シリーズに、憧れを身近に楽しんでもいただける「CRF250L」を加え、充実のラインアップを構築しました。

Hondaは、「良品に国境なし」の理念の下、タイホンダマニュファクチュアリングカンパニー・リミテッド(以下タイホンダ)で、二輪車生産を1967年にスタートし、1988年からカブ100EXの輸出を開始しました。2010年にはタイでの安定した品質管理を背景に、その質感の高さとお求めやすい価格を両立した125ccスクーター「PCX」や、ロードスポーツモデルのグローバル展開の第一弾となる「CBR250R」などを欧州や日本へ輸出し好評を得ています。

この「CRF250L」もスポーツモデルの第二弾として世界中のお客様に喜んでいただけるように、高い品質とお求めやすい価格を実現すべく、タイでの部品現地調達率を80%にまで高めて、世界各国に向けて生産し、供給します。

Hondaは、今後も豊かな生活と低炭素な社会の実現に向けて、楽しく、便利で、感動いただける新製品をいち早く、お求めやすい価格でお客様にご提供して参ります。

この「CRF250L」を世界中の多くの方々に乗っていただき、Hondaが提案する新しいオフロードライフの魅力と喜びを感じながら、それぞれの夢を実現していただければ幸いです。

(株)本田技術研究所二輪 R&D センター
オフ、オン/オフカテゴリー開発責任者
HIKARU TSUKAMOTO

塚本 飛佳留

